五ツ又自治会だより

平成26年5月号　第48号
発行日　2014/5/11
編　集　広報部

平成26年4月、五ツ又自治会は52歳になりました。

平成26年5月現在、五ツ又地区の世帯数は1200強で、このうち自治会に加入は1004世帯、入会率は85%です。また人口は約3千人で65歳以上の高齢者は約900名に及びます。高齢化率は3割に近い状況です。こうした状況を踏まえ、安心安全な街づくりが望まれます。

五ツ又自治会第52回通常総会開催

平成26年4月27日（日）午前10時から11時の間、ジョイフルにおいて第52回五ツ又自治会通常総会が行われました。新旧役員13名と各区正副理事66名（総数82、委任状7、欠席9）が出席し、新井会長から指名を受けた根本副会長が議長となって、議案の審議を行いました。各議案とも滞りなく審議を終え、無事新年度に移行しました。

議案は、①25年度事業報告、②25年度決算報告、③25年度監査報告、④26年度会長の選出、⑤会則の一部改定、⑥26年度事業計画、⑦26年度予算、⑧代議員提案議題等の8件でした。

この中で特筆する件は次の2件です。ひとつは⑤会則の一部改定で、役員の任期に関する第10条の「2期4年を超えることができない」を「役員の再任を妨げない」としたこと、世帯主の死亡の弔慰金を支給額1万円から5千円としたことです。もうひとつは⑥26年度事業計画で、今まで五ツ又自治会でのみ実施していなかった役員・理事の慰労金を支給することになったことです。

今年度予算の詳細は3，4ページをご覧ください。

新井新会長就任あいさつ

平成２６年度を迎えて

新緑の候、会員各位におかれましては、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。平素は自治会活動に格別のご協力と高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

過日４月27日に第52回定期総会を会則に基づき実施いたしました。席上、平成25年度の事業報告および決算報告並びに監査報告をさせて頂き、一部の行事が台風と大雪の関係で日程の変更等をさせて頂いたものを除けば概ね無事に行うことが出来た旨、報告をさせて頂き、満場一致でご承認を戴きました。また26年度の事業計画およびエアコンの取替工事等を含めた予算についても満場一致でご承認を戴きました。代議員の皆様そして会員各位の御協力に感謝申し上げます。

また会長選考委員会より26年度、27年度の会長続投の要請があり受諾致しました。26年度の事業遂行につきましても役員一同鋭意頑張りますので会員各位のご指導ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

さて　五ツ又自治会も創立してから５２年の歳月が経過いたしました。居住されている方も高齢化が進み、高階の中でも高齢化率が一番高く三割になんなんとしております。我が自治会はまだ大丈夫と思っておりましたが、対岸の火ではなくなりました。少子高齢化の問題として「一人暮らしの高齢者の方」「空き家問題」等自治会として真剣に取り組まなければならない問題と認識しています。

然しながら、ありがたいことに、五ツ又自治会内は防犯を始め諸兄の活動により犯罪も殆ど無く、防災につきましても震災の被害が殆ど出ていません。本当に「安全で安心して暮らせる街」として少しずつですが構築されて来ていると実感しております。

今年こそ、私自身自治会活動の総仕上げの年と位置付け、精励したいと肝に銘じております。本年の事業計画が滞りなく推進できますよう会員各位そして各部また各外郭団体の皆様のご協力と諸先輩のご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げ事業年度開始に当たりご挨拶といたします。

新役員をご紹介します

五ツ又自治会は第26期を迎え、役員が改選されました。会長は前ページでご紹介しましたので、ここでは副会長から会計監査までの11名をご紹介いたします。

役員の氏名とコメントは写真上段左から右、下段左から右の順に掲載してあります。

●**副会長　根本裕志**（16区）　再度副会長に任命され、任の重さを痛感しております。過去2期で地域の人達と少しは交流を深める事ができたと思います。今期は更に交流を深められる様努力を重ね、明るく楽しい自治会になる様頑張ります。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

●**副会長　中川一夫**（22区）　前期は、体育部長を皆様のご協力により2年間務めさせて戴き、ありがとうございました。今年度からは、新井会長の任命を受け、新たに副会長を務めさせて戴くことになりました。五つ又自治会に、住んで良かったと感じて戴けるようにやって行きたいと、思っております。今まで以上に、皆様のご協力を宜しくお願い致します。

●**副会長・広報部長　岡　和男**（18区）　生涯広報部長のみと思っていましたが、さらに副会長という大役を仰せつかりまして、環境推進委員もお受けしました。はてさて如何なりますやら。ただし安請け合いと会員の皆様から評されないようにしないとなりません。老体に鞭打って一層頑張る所存です。

●**総務部長　竹之下和義**（10区）　この度、総務部長として就任いたしました10区の竹之下です。前任の三井氏の様に、立派な仕事はできないとは思いますが、頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。

●**厚生部長　佐藤安弘**（18区）　今年度厚生部長を務めさせていただく佐藤です。皆さんと協力しながらがんばっていきたいと思います。宜しくお願いいたします。

●**防犯防災部長　高橋　勝**（2区）　この度、図らずも防犯防災の重責を担うことになりました。日頃お世話になっております五ツ又会員の皆さまに、少しでも恩返しをの気持ちで病身を押して、関係諸氏のご協力のもと「会員は一人のためと、一人は会員のために」をモットーに務めて参ります。宜しくお願い申し上げます。

●**体育部長　山口征治**（21区）　この度、体育部長に就任しました山口です。前任者の中川さんご苦労様でした。私のような高齢者が大役を仰せつかって良いものか悩みましたが、お世話になっている自治会のために多少なりとも貢献できればと思いお受けしました。
高齢者ではありますが、楽しい競技会等が行えるよう頑張りますので皆様の御協力を宜しくお願い致します。

●**青少年育成部長　大場和仁**（24区）　五ツ又の皆様のお役に立ちますよう努力してまいります。五ツ又の行事、北小育成会との行事にかかわり、お子様達が、明るく、元気に活動できますよう、皆様と一緒に見守って行きたいと思います。よろしくお願いいたします。

●**会計　高橋敏博**（18区）　再任です。これまで同様、入出金の管理を厳格に行ってまいります。

●**会計監査　星野勝**（12区）　限られた予算の中で、如何に自治会を運営していくか。楽しい自治会を目指し、アドバイスを含めて監査をしていきたいと思います。

●**会計監査　藤原熙功**（39区）　安心で住みよい地域づくりに尽力したいと思います。

第26期予算表掲載しました

今期の予算を、次の３・４ページに掲載いたしました。

４ページの末尾には今年度から支給される役員・理事の報償金のついて記述してあります。会長職の報償金は今までどおり川越市から支給されますが、副会長以下の役員、理事へは五ツ又自治会からの支給となります。

五ツ又まつりをはじめ、各行事の予算を載せてありますので興味深くお読みください。

平成26年度予算(案)　　(収入・残高の部)

【 一 般 会 計 】　　(単位:円)

項　目	内　訳	26年度予算	25年度決算	予算－決算	予算内容
自治会費	合　計	2,409,600	2,333,400	76,200	1，004世帯×2400円
補助金	合　計	1,809,056	1,261,689	547,367	
	自治会長報償金	0	190,520	−190,520	今年度より会長口座へ振込
	自治会協力報償金	224,720	224,720	0	1004世帯基準 180×S+44000
	土地賃借補助金	80,000	80,000	0	
	会場借上補助金	20,000	20,000	0	
	街灯補助金	675,396	568,509	106,887	25年度支払額　1,013,095×2/3
	ラジオ体操補助金	19,000	19,000	0	
	福祉協力金	100,400	100,400	0	1，004世帯基準×100円
	町内講座補助金	33,540	33,540	0	
	一人暮らし助成金	25,000	25,000	0	1人当たり・1,000円(要申請)
	自治会施設修繕費	631,000	0	631,000	空調機取替工事補助
寄付金	合　計	739,000	754,710	−15,710	
	五ッ又まつり	700,000	715,710	−15,710	
	新春餅つき会	39,000	39,000	0	
雑収入	合　計	15,000	32,820	−17,820	自治会館利用料ほか
資源回収	合　計	640,000	640,103	−103	※年8回を予定×80,000
					雑紙回収単価減による
一般会計合計		5,612,656	5,022,722	589,934	
前 年 度 繰　越		3,753,376	3,713,302	40,074	
総　　計		9,366,032	8,736,024	630,008	
【 特 別　会 計(振替勘定)】					
建 設 準 備 金		500,000	500,000	0	
60周年積立金		150,000	150,388	−388	
合　　計		650,000	650,388	−388	

【 26年度 残 高 予 定 】

一 般 会 計	3,372,401	3,753,376	−380,975	
特 別 会 計	3,450,358	2,878,073	572,285	
建 設 準 備 金	3,000,000	2,500,000	500,000	
60周年積立金	450,358	378,073	72,285	該当日:2022年8月1日
合　　計	6,822,759	6,631,449	191,310	

平成26年4月27日

五 ッ 又 自 治 会
会　長　新井 正司

平成26年度予算（案）　（支出の部）　（単位：円）

【一般会計】

項　目	内　訳	26年度予算	25年度決算	予算－決算	予算内容
本　部	合　計	2,751,525	1,295,503	1,456,022	
（総務所管）	小　計	481,000	278,608	202,392	
	事務用品費	100,000	67,746	32,254	インク代・用紙・文房具等・前年予算比減
	印刷機リース料	126,000	126,000	0	リース料10,500×12
	総会費	80,000	59,200	20,800	26.4.27総会費用
	諸会議費	50,000	6,160	43,840	部長会・三役会・理事会ほか
	地区会議費	75,000	18,086	56,914	単価150円×500世帯（利用促進）
	公園管理費	50,000	1,416	48,584	森の公園管理費（ベンチ修理など）
（会長所管）	小　計	588,900	609,009	−20,109	
	慶弔費	150,000	132,750	17,250	30件計上・世帯主5,000円とする。
	渉外費	250,000	211,095	38,905	自治連・他地区自治会等の交際費
	会長活動費	0	92,050	−92,050	会長活動費190千円削除
	分担金	128,900	128,900	0	自治連高階支会・民生委員分担金他
	環境部	60,000	44,214	15,786	環境部慰労費用他
（報償費）		288,000	0	288,000	別紙内訳・参照
（会館管理費）	小　計	1,393,625	407,886	985,739	
	地代	120,000	120,000	0	前年実績並み
	火災保険	41,000	40,730	270	前年実績並み
	光熱・雑費	220,000	201,502	18,498	電気代：150千円・水道30千円他
	電話料	35,000	31,864	3,136	前年実績並み
	会館維持費	977,625	13,790	963,835	空調機取替工事948千円、台所用品他
防災部	合　計	1,205,000	1,139,141	65,859	
	街灯電気使用料	1,015,000	1,013,095	1,905	25年度前払街頭電気料1,013,095円
	街灯管理費	150,000	90,000	60,000	25年度修理件数40件
	夏・冬のパトロール費	40,000	36,046	3,954	前年予算並み
青少年部	合　計	80,000	80,000	0	
	ラジオ体操	30,000	30,000	0	児童数増加　約180名
	育成会関係費	50,000	50,000	0	※新入生20・卒業生30
広報部	合　計	50,000	31,433	18,567	
	事務費	14,000	3,696	10,304	※自治会だより発行費用
	ホームページ関連	36,000	27,737	8,263	サーバ使用料3,000×12
行　事　費	合　計	1,650,000	1,596,571	53,429	
	五ッ又まつり	1,100,000	1,094,389	5,611	前年並み
	グラウンドG大会他	150,000	130,193	19,807	ｸﾞﾗﾝﾄﾞｺﾞﾙﾌ、ボウリング大会
	敬老会	200,000	182,052	17,948	敬老の日祝賀会
	新春もちつき会	200,000	189,937	10,063	
団体補助金	合　計	230,000	190,000	40,000	
	親和会	30,000	30,000	0	前年並み
	ソフトボール部	30,000	30,000	0	〃
	〃帽子補助	40,000	0	40,000	五ッ又マーク入新規購入の補助
	GG倶楽部	30,000	30,000	0	前年並み
	高階北小育成会	60,000	60,000	0	〃
	防犯パトロール隊	20,000	20,000	0	〃
	囲碁・将棋クラブ	20,000	20,000	0	〃
予　備　費	合　計	0	0	0	
一般会計合計		5,966,525	4,332,648	1,633,877	
【特別会計】					
特別会計合計		650,000	650,000	0	
建設準備金		500,000	500,000	0	振替後残高　300万円
60周年積立金		150,000	150,000	0	
次年度繰越		2,749,507	3,753,376	−1,003,869	
総　計		9,366,032	8,736,024	630,008	

（報償費内訳）	小　計	0	288,000	−288,000	
報償費	会長1名	0	0	0	川越市より会長個人口座に振込
	副会長3名×30000	0	90,000	−90,000	自治会協力報奨金 224,720円より充当兼務の場合は高い方の金額とする
	部長6名×15000	0	90,000	−90,000	
	会計×20000	0	20,000	−20,000	
	理事41名×2000	0	82,000	−82,000	
	監査2名×3000	0	6,000	−6,000	

新春もちつき会は大盛況

新春もちつき会2014は、1月12日（日）、森の公園で開催されました。天候は良、風もなし、でも暖かさで霜柱が融けたので会場一面泥状になり、ぐちゃぐちゃ。会場の整備のため事前に掃き集めていた落ち葉をまた泥の上に敷き詰めました。これで子どもの歩行は安全。靴はだいぶ汚れたようですが。

今年は米を10キロ増やし総量60キロ。内緒ですがある秘密の機具を持ち込んだおかげで、生産スピードアップ。いつもの通り1000人きても準備OKだったのですが、意外や参加者は800名ほどでした。だから餅はまんべんなく行きわたりました。

猪狩さんが提供してくれた別の秘密兵器、釜のふたや長尺のしゃもじはトン汁の具の煮えかたに効果抜群。体育部の味付けもよかったですよ。とても美味しかっです。

毎年のことながら子供たちは嬉々として杵を振り上げてました。こういう行事は毎年楽しみ。体勢はできています。来年はもっといっぱいいらっしゃい。

降っても降っても止みません

2月8日と14日の大雪には参りました。首都圏では45年ぶりとのこと。8日夕は吹雪状態でした。街はまるで雪国の趣。両日とも私は雪中外出という所業。今回の積雪は1日で25センチ以上、2日合計で50センチ以上、丈の短い雨靴では歩くと口から雪が入ってまったく役立ちません。

積雪は放っておくのが一番融けやすいとの説もあります。積み上げると解けにくくなるのも確か。かといって家の前の生活道路が不通のままにしておくのは気が引けます。家の前でなにか事故が起こっては嫌ですから。

積もった翌日は週末で雪かきには好都合でしたが、気温が低く解けません。わが地区では多くは老人世帯です。一気に掻き切る体力が…。何時かは始めなくてはと思いつつなかなか。それでもご近所のガーッとスコップと道路のこすれる音につられて重い腰があがります。明日は筋肉痛か、いや筋肉なんかもうないから関節痛か。

でもこんな面倒な雪はいいことも見せてくれます。ご近所の比較的歳若い人が見かねて力を添えてくれたり、翌月曜日収集のごみ集積所は早々にきれいに掻かれていたり、うれしいですね。雪は冷たいけれど、人の心のぬくもりと仲間意識を感じさせる人情劇の舞台を用意してくれたりします。

北小ウィング6年生を送る会は中止

２月８日は北小ウィングの主催により、恒例の６年生を送る会でした。ところがあの大雪です。会場に行くだけでも大変、帰り道はもっと大変かも、積もりましたからね。子どもの安全を考えると開催は無理。そこで残念ながら中止となってしまいました。

北小体育館は結構な人気があります。この後、会場として確保しようとしても空きがありませんでした。会自体の開催はできませんでしたが、でも記念のプレゼントや菓子は全員に配布されたとのこと。去年は何かと天気が荒れてて、行事がいくつかできませんでした。

今年も５月10日の「１年生を迎える会」、12月６日の「お楽しみクリスマス会」、来年２月７日の「６年生を送る会」３行事を開催します。よい天候に恵まれますように。お願いしますよ、お天道様。

防犯灯は大改革

今皆さんの周囲にある防犯灯は20wの蛍光灯です。設置直後は明るいのですが、時間がたってカバーが汚れてくると暗くなるのはいたし方のないところ。照らしてるというか灯ってるといった方がいいかも。頼りなさを感じます。

この状況が一変します。川越市では平成26年度中に防犯灯をすべて10wのLEDにします。つまり一灯あたりの消費電力は半分となり、半日点灯しての寿命は蛍光灯の2～3年に較べて23年にもなります。

何が起きますか。①ギラギラ感のあるLEDはとても明るいです。②防犯灯の電気代と蛍光灯交換費用の一部は自治会が負担しますが、この額は年間60～70万でした。これが減る可能性が大いにあります。③球切れの管理が楽になります。以上いいこと尽くめ。

いま19区関本宅の前に１つ設備されています。新しいものに興味のある方は見に行きましょう。点灯するのは夜間ですから周囲に充分注意してください。まっ今年度中にはいずこもLEDになりますけどね。

おやじの会ウォーキング

4月29日午前9時半から5時間をかけて北小に通学する児童を対象に、おやじの会主催でウォーキングが開催されました。参加者は100名近くいましたか。北小からは校長先生をはじめ3名の先生が参加されました。ルートは北小から不老川と新河岸川を堤防沿いにふじみ野市の蓮光寺までの往復です。この間約12キロ、越生名物の一里飴に換算すると3粒。福岡河岸記念館にも寄りました。蓮光寺境内をお借りして家族で昼食をとりました。いつもは街を道路から見ているのですが、川から見ると雰囲気が変わるものですね。ここは川越なのかふじみ野市か、ひょっとして随分と遠くへ来てしまったのかという錯覚に捉われます。小学生には大した距離でないかもしれませんが、高齢者にはちょっとこたえたか。北小では「ときも」「時の鐘マン」、蓮光寺では「こばとん」「ふじみん」がお出迎えしてくれて、子どもはたいそうな喜びようでした。

まつり提灯作りませんか

祭りちょうちんを作りませんか。昨年、この誌でお聞きしたところ、６個ほどご注文がありました。さらに後日私も作りたかったというお話も伺いました。そこで今年もあらためてご注文を募ります。価格は消費税値上げほかのため１張、2050円となります。提灯は管理上、自治会にご寄付いただくことになります。祭りのときにしか出会えないことをご承知おきください。完成の際に写真を撮影し、お見せします。

注文に際しては

色は5色（赤・青・黄・緑・ピンク）の中から1色をお選びください。この色と白の鯨幕状にして提灯に張ります。

書き入れの文字（お名前とか店名とか「五ツ又まつり」とか）をご指定、お知らせください。

ご注文は恐れ入りますが、代金をお持ちになって岡の家までおいでください。岡は水・土・日曜日・祝日以外は大方出勤のため不在です。休みの日もひょっとして不在かもしれません。事前に電話（246-3866:留守電使用可）をいただければ幸いです。

注文締め切りは６月25日（水）とさせていただきます。

▶▷▶▷▶▷▶▷ 話のネタ ◁◀◁◀◁◀◁◀

五ツ又で昔、合戦ありき。

五ツ又地区の南側に砂久保神社があります。稲荷大明神とも言われます。稲荷社は京都山城の渡来系秦氏の氏神ですが、日本全国に勧請されていき、今も多く存在します。神社の縁起はともかくとして、ここでお話しするのは470年ほど前の1541年（室町時代・戦国時代）にこのあたりで起きた川越夜戦（やせん・よいくさ・夜合戦とも言います）です。いささか古い話で恐れ入ります。

室町幕府は末期となると勢力は落ち、力の及ばなくなった関東地方では関東管領の平安時代からの名門、上杉家は家中で本家筋の山内と庶家の扇谷両家の内紛で混乱、源氏である足利氏も内紛で混乱の態。その機に乗じて小田原城に本拠を置く新興勢力の戦国大名北条氏（伊勢氏・後北条とも言う）が侵略をしかけ、江戸城を取り、続いて扇谷上杉の川越城を取りました。それを奪回すべく上杉・足利氏の旧勢力は川越城を包囲、しかし北条側は半年にわたって籠城、上杉・足利方が疲弊した頃に南側から北条援軍が迫り川越城を中心に戦闘。特に北側の東明寺口では激しい戦闘があり、1万人の戦死者が出たということです。東明寺は今は時宗ですが、創建当時は天台宗で無量寿寺（喜多院・中院）と同じく慈覚大師（円仁）が開祖で、河越氏領の東部一帯を寺領としていました。今も伊佐沼北部に東明寺の字名が残っています。戦闘の地域は相当の広さであったのでしょう。両勢力8万人もの兵士が戦ったのですから。

川越夜戦の際、砂窪(当時の用字)に陣場が置かれていました。小田原から出陣した北条氏康の陣場ともいわれています。ただしここに神社があり、その境内が陣場の中心になったのではないようです。砂久保村ができたのが1644年、江戸時代初期ですから砂久保神社ができたのはおそらくその頃。陣場あったのは砂久保神社成立の100年ほど前になります。砂窪で行われた戦闘では3千人ほど戦死者がいたとのこと、その記憶かあるいは遺骨が多く残っていたために、聖地となり稲荷神社が祀られたのかもしれません。

現東明寺の近くに、かつて戦死者の塚があり、明治の道路工事の際に頭骨などが多く掘り出されたといいます。しかしいま実地を見たところ住宅街です。東明寺の御住持に伺ったところ昭和に初めに土地を購入した方が、不要と見て塚を壊し埋め立て用に土を売ってしまったとのこと。

川越夜戦は旧勢力軍勢8万に対し、籠城していた新興勢力軍勢3千と応援の8千が勝利したという奇襲作戦で有名ですが、そこに留まらず、日本の権力の構造を根幹から覆した事件でもあります。上杉家が没して越後に逃げ、頼った外戚の長尾景虎に姓と管領職を譲渡したことから、長尾景虎が上杉謙信として世に出てきたきっかけになりました。戦国時代は皇籍から降下した豪族をその配下にいた地方豪族が下克上したのですが、その中の一事件が砂久保を舞台にして起こったと聞くとすごく身近な事件に思えます。観光川越の一部になりませんかね。砂久保陣屋は観光資源として使えませんかね。東明寺口に較べると戦死者が少ないのですが。歴男・歴女がわざわざ砂久保神社に参観に来ているようです。

北条氏の配下、諏訪氏居城の寺尾城（現日枝神社、新河岸川・旭橋付近）、扇谷上杉氏の配下、難波田氏居城の難波田城（ふじみ野市・南畑）も時期的にこの戦に関わっています。難波田氏の頭領、難波田憲重は東明寺の井戸に落ちて絶命、難波田氏は歴史から姿を消します。

一方の諏訪（右馬助）氏は諏訪大社の神官の家系で長野県松代あたりが所領、松代には今でも城跡の地名として寺尾が残っています。前北条氏に仕えてからは神奈川県内にも所領を持ち、今茅ヶ崎市、横浜市にも寺尾という地名が残しました。川越市の寺尾も諏訪氏が持ち込んだものでしょう。川越市諏訪町もなんらかの関係がありそうです。藤間諏訪神社は藤間村が江戸時代に成立する以前からあるそうですから。諏訪氏はどの流れかしれませんが明治には子爵になったとのことです。以上、五ツ又で昔、合戦ありきのお粗末でした。

ところで地口行燈をご存知でしょうか。地口とは駄洒落のこと、行燈に駄洒落「着たきり雀（舌切り雀）。美味（馬）勝った牛負けた。など」とそれに関わる絵を描いて、初午の際に稲荷神社の参道に立てるもので、江戸期には流行っていたものの、今は廃れ江戸近郊の一部に残されているだけですが、砂久保神社にはこれがちゃんと残っているのです。初詣の際にはぜひご覧ください。

寺尾城跡

東明寺

砂久保神社

五ツ又自主防災会とは　地域における防災活動の拠点

組織はどうなってるの？
どこに逃げるの？

もし大規模災害が起きたとき、誰の指示により、どこかに逃げましょう。私はまだ若いころは人に頼らなくても何とかなると思ってました。家族を守るには多少は悪さをしなくてはならない時もあるかもしれないと思ってました。でも可能でしょうか。

いくつかの災害を見てきました。そして自然の力が人に対して圧倒的であることを知らされました。個人で対応できる相手ではありません。人は生態上、集団で生きるように仕掛けられています。多くの人が同じ劣悪な環境のもとで均等に低レベルながら幸福を維持するために今まで日本人はどういう行動をとったでしょうか。何人も手の施しようのない放射能汚染地域は論外として、その地域にとどまり連帯して復興に対処しました。

災害に対処するには、すべての生活信条・信念を捨てて、独立ではなく集団で行動することが多くの命を維持していける方法であることが真実であるように思えます。

集団で対処しよう、これを前提に以下お話しします。

五ツ又自治会自主防災会本部　246・1966　本部長　新井　正司

- 根本副本部長　243・7113
- 岡副本部長　246・3866
- 中川副本部長　245・3431
- 新井本部長　246・1966

五ツ又自主防災会・避難場所
指示・連絡網

NO	組長	地区	氏名	TEL	広域避難場所目安
第1班	班長 小野寺	1	富岡　吉勝	247−5441	高階中学校 242・1010
		2	高橋　勝	247−4159	
		3	山下　宗史	247−2542	
		4	小野寺貞夫	242−3246	
		5	村上　瑞枝	246−3646	
第2班	班長 宇都宮	6	宇都宮広喜	242−4112	
		7	加藤　昇	245−1500	
		8	加納　良一	246−8168	
		9	栗林　實	241−9620	
		10	竹之下和義	246−3963	
第3班	班長 尾内	11	小林喜代治	242−6918	高階北小学校 244・0900
		12	栗田　茂	245−0856	
		13	尾内惣太郎	243−4710	
		14	宮島　慎吾	246−7233	
		14-2	藤内　賢二	247−3239	
		15	若杉　雄一	241−7388	
第4班	班長 吉田	16	吉田　和子	244−8357	
		17	千葉　廣	248−6886	
		18	佐藤　安弘	245−6358	
		19	高橋　早紀	293−9375	
		20	平林　克彦	247−3571	
第5班	班長 山本	21	坪田　さなみ	247−3189	高階中学校 242・1010
		21-2	山口　征治	243−4654	
		22	新井　道雄	244−4270	
		23	山本　幸司	238−1267	
		24	大場　和仁	244−6720	
		25	東地　寿和	293−7872	
第6班	班長 吉川	26	野々山　純	090-4919-2463	
		27	大久保秀治	248−1667	
		28	田中　秀紀	293−8736	
		29	田頭　国男	244−9781	
		30	吉川　宏	247−6927	
		31	佐久間　慶	293−3957	
第7班	班長 栗山	32	横溝　英一	242−5013	初雁高校 244・2171
		33	本田　典男	246−3937	
		34	松田　茂	245−8009	
		35	栗山　亮	244−3848	
第8班	班長 大西	36	狩谷　忠夫	245−6749	
		37	新田　和宏	080-5543-3539	
		38	山口　智	247−4027	
		39	大西　健文	246−6086	

左表は平成26年度の五ツ又自主防災会の組織と避難場所を示したものです。自治会内を8班に分け、4人の会長副会長が2班ずつを受け持ち、小中学校高等学校を避難場所とします。避難場所は絶対的なものではありません。災害の起こり方により、変更されることがあります。災害の中心地となった施設には行けませんから。

27年度は理事が大方交替いたしますのでこの表は26年度のみ有効となります。

実際の避難行動は各自主防災会で任意に決定するものではありません。この組織の上に災害情報を多く持つ自治体の組織が存在します。避難勧告・指示は自治体から発動され、それに基づき私たちは行動することになります。行動は地域ごとの集団でなさなければ却って二次災害の原因になり、避難現場の混乱を引き起こします。

次号では各役員・理事がどう行動するかについてお話しいたします。